

**河内温泉あじさいの湯に関する官民対話(結果概要)**  
**(山口・北九州地域「PPP/PFI 官民連携プラットフォーム」)**

株式会社 YMFG ZONE プラニング(北九州銀行グループ)主催の「河内温泉あじさいの湯に関する官民対話」において、民間事業者からいただいた意見等を取りまとめましたので、その概要を公表いたします。

**1 開催概要**

日時: 令和5年9月4日(月) 14時10分～15時10分  
開催形式: WEB 形式(Zoom 会議システム)

**2 官民対話の参加者**

中国地方、北九州市内を本社とする計7事業者  
(都市開発、アウトドア、建物維持管理・運営など)

**3 質問内容**

- ①河内温泉には、民間事業者が参入したいと思う「魅力」があるか。
- ②「温泉」を重要な要素として考えるか。また、「温泉以外」の活用は考えられるか。
- ③旅館又はホテル事業を行う場所として、「ポテンシャル」はあるか。
- ④事業性について、参入しやすい条件は。

**4 事業者からの主な意見**

- 高速道路のインターチェンジや集客拠点から比較的近いことは強みであり、河内温泉には十分な魅力がある。
- 温泉は大事だが、温泉だけでは難しい。
- 周辺の自然を生かしたアクティビティなどの導入や、施設自体の魅力を向上するなど、この場所(施設)を訪れたいくなるような付加価値が必要。
- コスト削減のため、温泉の加温を必要としない使い方はどうか。(例えば温泉プール)
- 事業者が参入しやすい事業手法(運営権の付与)なども検討してほしい。

**5 市の今後の予定**

いただいたご意見を参考に、引き続き検討を進めます。